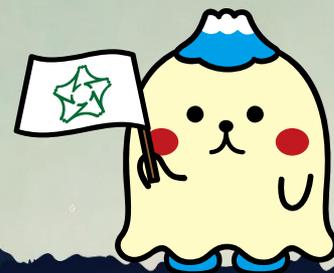


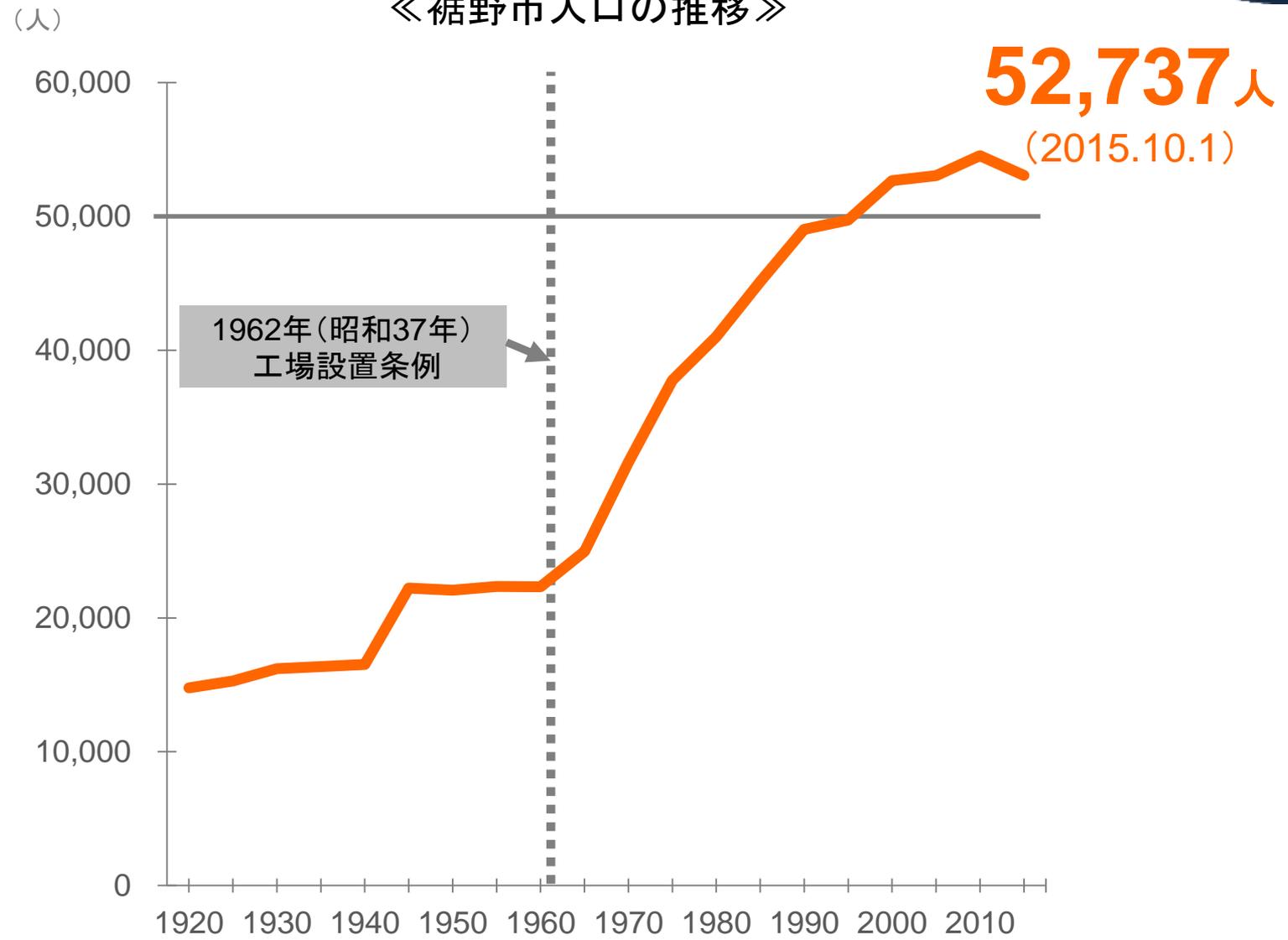
# 裾野市の現状と取組



# 昭和30年代から企業集積が進み人口が増加 2010年以降、人口減少時代に突入



《裾野市人口の推移》

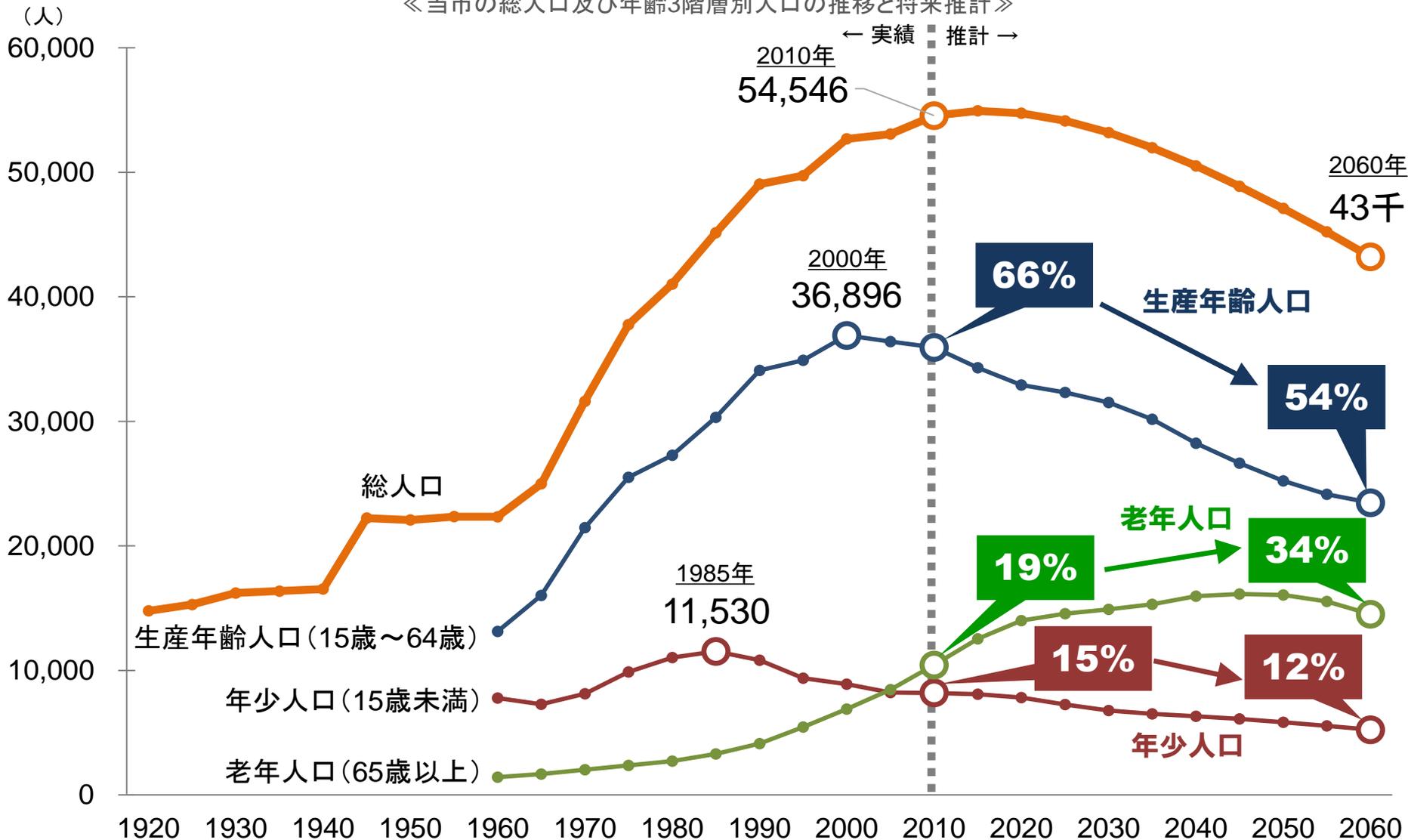


出典：国勢調査他

# このまま人口減少が進行すると、世代間 バランスが大きく様変わりする



《当市の総人口及び年齢3階層別人口の推移と将来推計》



出所: 1920年から2010年までは国勢調査、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)』

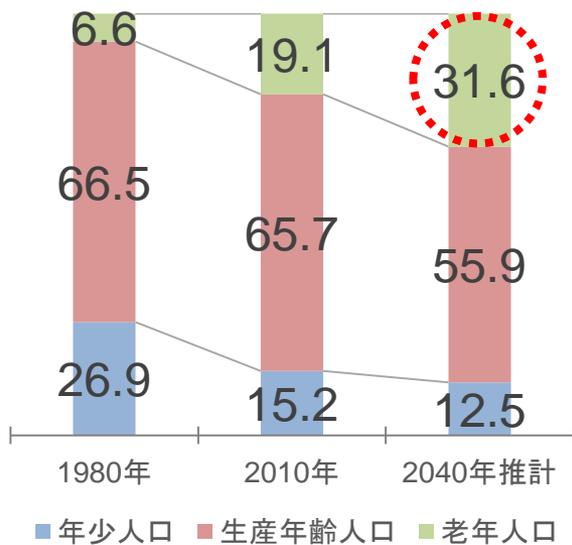
# 目指すべき将来の方向(裾野市人口ビジョン)



## 世代間バランスを重視した人口政策

人口減少社会にあっても、世代間バランスのとれた、持続可能な地域づくりを推進します。

《当市の年齢3区分別人口割合の推移》



出所:国勢調査

## 結婚・子育ての希望に応える

市民の皆さんの、「もうひとり子どもを生みたい」という希望がかなう地域づくりを推進します。

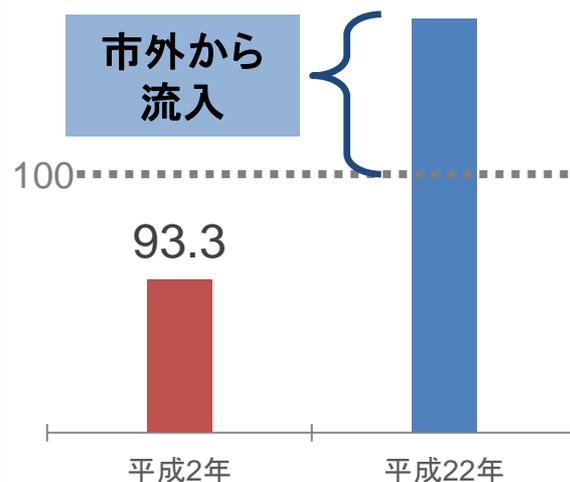
- 理想の子どもの人数  
2.55人
- 実際に持つ予定の子どもの人数  
2.29人
- 県内トップの合計特殊出生率  
1.82

出所:平成26年度少子化対策に関する市民意識調査

## 暮らしたい・働きたいの希望に応える

市内でしごとを持ち、暮らしたいという皆さんの希望に応える地域づくりを推進します。

《昼夜間人口比率の推移(H2,H22)》  
107.4



出所:国勢調査

# 人口の将来展望(裾野市人口ビジョン)

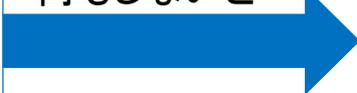


2010年

## 国勢調査

人口 54,546人  
高齢化率 19.1%

何もしないと...



社人研準拠推計  
人口 43,266人  
高齢化率 33.6%

2060年

## 目指す将来の姿

人口 **5.2万人**程度確保  
⇒2080年以降  
**5万人**程度で安定

高齢化率 **28%**台  
⇒2080年以降  
**25%**台で安定

## まち・ひと・しごと創生の 取組み

- ① 2020年に**出生率2.07**
- ② 2016年以降、希望モデル世帯(両親・子ども2人の4人家族)の社会減を食い止め、**年間20世帯の定住を促進**



# 人口ビジョンを踏まえ「総合戦略」を策定

田園未来都市

すその挑戦

人口ビジョン

まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦

目指すべき将来の方向

世代間バランス  
を重視した人口  
政策

結婚・子育ての  
希望に応える

暮らしたい・働  
きたいの希望に  
応える

施策の方向性

社会減の流れに歯止め  
をかける定  
住促進

結婚・子育て  
の希望を  
実現する少  
子化対策

社会増の流れをつくる持  
続可能な地  
域経済の構  
築

施策の基本目標

1. 「住みたいまち裾野」の  
まちづくり 共生  
裾野市らしいまちのデザイン／出歩きた  
くなるまちづくり

2. すべての起点となる  
ひとづくり 共育  
裾野ファンの拡大／切れ目ない子育て支  
援／多様なライフスタイル創出

3. まちやひとを豊かにする  
産業づくり 共栄  
事業活動環境の整備／地域資源を活用  
した産業振興／起業・創業支援

主な指標

- 転出の抑  
制
- 昼夜間人  
口の均衡

- 出生率の  
向上
- ひとづくり  
活動の参  
加者数の  
増加

- 転入の創  
出
- 就業者数  
の増加

## 総合戦略の3つの基本目標



### 「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦

#### 1. 「住みたいまち裾野」のまちづくり 共生

誰もが住みたいくなるまちであるため、自然環境と産業が高水準でバランスを保つ。裾野市らしいデザインのまちづくりを進めます。

#### 2. すべての起点となるひとづくり 共育

人と人との関係がいつまでも豊かで、子育てにやさしく、多様なライフスタイル・ワークスタイルにあった地域づくりを進めます。

#### 3. まちやひとを豊かにする産業づくり 共栄

グローバル経済圏で活動する企業、地域資源を活用する地域産業が活躍し、誰もがチャレンジできる産業づくりを進めます。

#### ＜戦略の推進に不可欠な視点＞

##### ■ 情報発信

裾野市らしいライフスタイル、ワークスタイルを提案する詳細な情報発信

##### ■ 市民協働

市民、企業、各種団体、行政など地域づくりの様々な担い手との連携・協力を促進

##### ■ 広域連携

共通の課題を抱える市町間で、より効果的な課題解決に向けて連携を促進

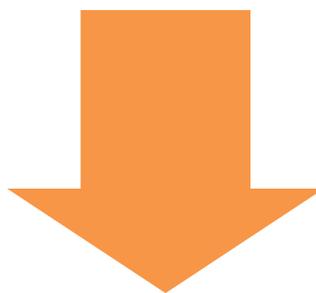
キャッチコピーは、  
「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦

# 総合戦略で整理した市の方針は、総合計画 後期基本計画に引き継がれた



まち・ひと・しごと創生総合戦略 H27.10策定

「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦



福祉部門等の  
施策を追加

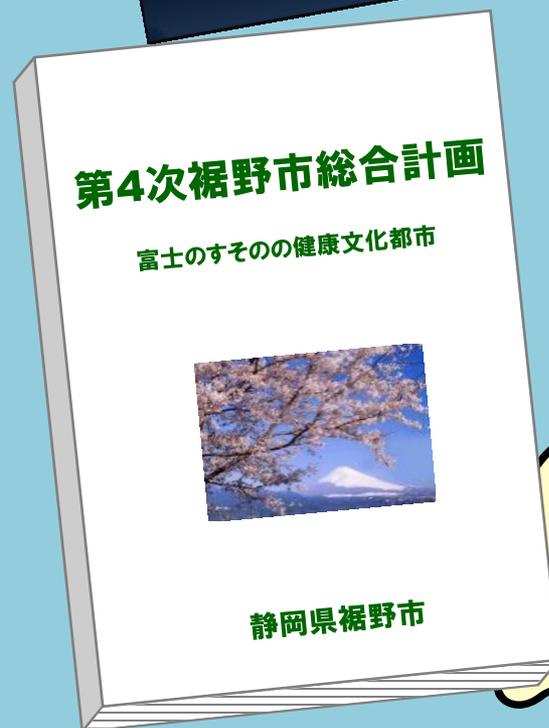
総合計画後期基本計画 H28.12策定

# 総合計画とは、 まちづくりの方針や 将来像を描くもの

## 4次総 後期基本計画 平成28年度～平成32年度

<計画年度>

23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
前期基本計画					後期基本計画				



# 4次総後期基本計画の全体像

## 基本構想

まちづくりの指針・将来像

まちづくりの指針

- 「すその」らしい魅力を大切に
- 「元気」と「調和」を活力に
- 市民と行政の協働を原動力に

まちの将来像

### みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市

世代間の調和がとれたまち、産業と地域の調和がとれたまちの実現により、「住んで良かった」「これからもずっと暮らしていきたい」と感じることができる「すその」を形づくりします。

## まち・ひと・しごと創生の取組み

人口ビジョン

○世代間バランスを重視した人口政策  
人口減少社会にあっても、世代間バランスのとれた、持続可能な地域づくりを推進します。

＜年齢3区分別人口割合の推移＞

### 世代間バランスの激変



○結婚・子育ての希望に応える  
市民の皆さんの、「もうひとり子どもを生みたい」という希望がかなう地域づくりを推進します。

●理想の子どもの人数

2.55人

●実際に持つ予定の子どもの人数

2.29人

希望とのギャップ

●合計特殊出生率

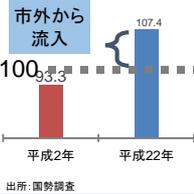
1.82

出所：平成26年度少子化対策に関する市民意識調査

○暮らしたい・働きたいの希望に応える  
市内でしごとを持ち、暮らしたいという皆さんの希望に応える地域づくりを推進します。

＜昼夜間人口比率の推移(H2,H22)＞

### 市外から流入



出所：国勢調査

まち・ひと・しごと創生総合戦略

裾野市のまち・ひと・しごと創生

### 「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦

当市は、富士山の裾野の、水と緑あふれる、東京100km圏内の田舎。一方で、「世界遺産 富士山」「世界かんがい施設遺産 深良用水」を始めとする地域文化や、グローバル経済圏で活躍する企業を始めとする産業集積の進んだまち。今後も、豊かな自然の中で、未来志向の個性あるまちづくりを進めます。

1. 「住みたいまち裾野」のまちづくり “共生”

2. すべての起点となるひとづくり “共育”

3. まちやひとを豊かにする産業づくり “共栄”

施策の大綱

1. だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」

健康・福祉

2. 成長するよこびと地域のつながりで心の豊かさを育む「すその」

教育・文化

3. 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」

生活・環境

4. 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」

都市基盤

5. 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」

産業経済

6. 健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」

行政経営

## 後期基本計画

施策の柱

- 1-1 健康づくりの推進
- 1-2 子育て支援の推進
- 1-3 地域医療体制の確保
- 1-4 地域における福祉の推進
- 1-5 障がい福祉の推進

- 2-1 学校教育の充実
- 2-2 生涯学習の充実
- 2-3 青少年の健全育成
- 2-4 スポーツ・レクリエーションの振興
- 2-5 文化の振興・保存

- 3-1 市民協働によるまちづくり、コミュニティづくりの推進
- 3-2 誰もが生きがいを感ぜられるまちづくりの推進
- 3-3 環境負荷の少ないまちづくりの推進
- 3-4 防災・減災対策の充実
- 3-5 防犯体制の充実
- 3-6 交通安全対策の充実
- 3-7 消費生活対策の充実
- 3-8 広域連携による消防・救急体制の充実

- 4-1 裾野市らしいまちづくりの推進
- 4-2 活気に満ちた市街地整備の推進
- 4-3 快適な住環境の創出
- 4-4 利便性の高い道路網の整備・保全
- 4-5 持続可能な公共交通の確保
- 4-6 治山・治水の推進
- 4-7 豊かで良質な水道の安定的確保
- 4-8 衛生的で快適な下水道の整備

- 5-1 商工業の振興
- 5-2 活力ある産業基盤づくり
- 5-3 農林業の振興
- 5-4 観光産業の振興
- 5-5 地域資源磨き・魅力発信の推進

- 6-1 広報・広聴の充実
- 6-2 ICTの活用による地域情報化の推進
- 6-3 効果・効率志向の行政経営の推進
- 6-4 健全で持続可能な財政運営の推進
- 6-5 行政経営の確立に向けた人材育成と組織体制の強化
- 6-6 将来を見据えた市政の展開
- 6-7 開かれた議会運営の支援
- 6-8 適正な監査事務の促進

# 平成31年度主要事業

## 裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

田園未来都市

すそのの挑戦

「住みたいまち裾野」のまちづくり

### “共生”

- 民間活力を活用した道路整備補助事業
- 新火葬施設整備事業
- 三世代同居支援補助事業
- 平松踏切道外1改良事業
- 東名跨道橋撤去事業
- 深良用水通水350周年記念事業

すべての起点となるひとづくり

### “共育”

- ふるさと納税推進事業
- 富岡地区コミュニティセンターリニューアル事業
- 土砂災害・洪水ハザードマップ作成事業
- 放課後児童室運営事業
- 富岡第二小学校体育館新築事業

まちやひとを豊かにする産業づくり

### “共栄”

- エバーグリーンサイン導入補助事業
- 有害鳥獣捕獲従事者育成支援事業
- 裾野市発 屋上緑化推進事業
- スポーツリズム事業
- リハビリ・パラリハビリ推進事業
- 移住・就業支援事業

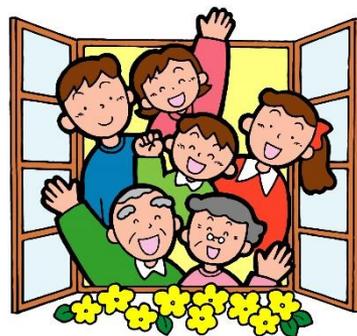
# 三世代同居支援補助事業

(産業部 産業振興課)

将来 新規 継続 CP

事業概要

■ 三世代同居による家族の支えあいを応援するため、子世帯及び親世代が同居するために住宅の取得または改修工事に対し補助金を交付する。



事業費

【H31年度予算】 1,000万円 (市単独費)

主な取組み内容

- 補助要件
  - ・住宅の取得または改修の費用に対して助成。
  - ・裾野市商工会会員との契約によるものであること。
  - ・建物は同一敷地内にあること。
  - ・建築基準法に基づき適正に建築された住宅であること。
  - ・三世代同居を5年以上継続する予定であること。

■ 補助額

取得 (新築、購入)	経費の10% 上限100万円
改修 (増築、リフォーム)	経費の10% 上限50万円

# 世界かんがい施設遺産 深良用水 通水350年



# 深良用水通水350周年記念事業

(総務部 行政課)

将来 新規 継続 CP

## 事業概要

- 2020年に深良用水通水350周年を迎えるため、記念事業の一つとして記念誌を発行する。



## 事業費

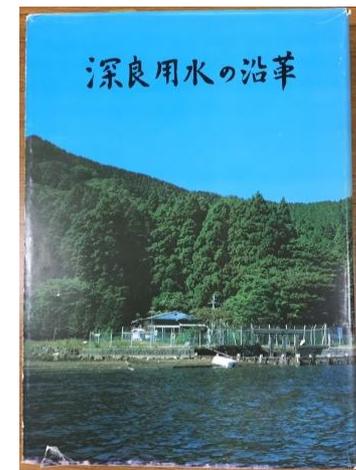
【H31年度予算】 440万円 (全額、県支出金)

## 主な取り組み内容

- 沿革誌 (S54.2発行) の改訂を行う

《主な改訂点》

- 沿革誌の発行から世界かんがい遺産登録までの内容の追記
- 新たに史実として明確になった内容の更新



# 深良用水まつり



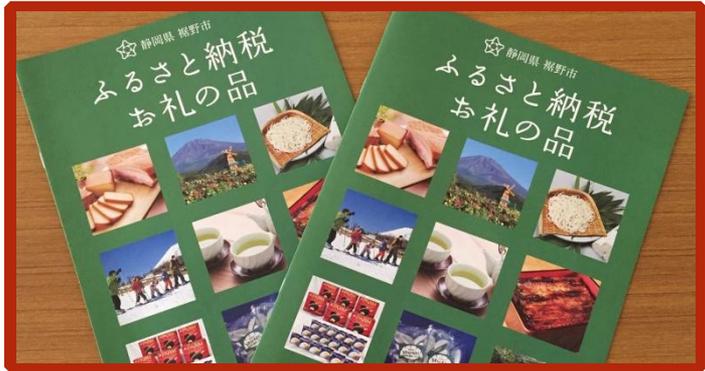
# ふるさと納税推進事業

将来 新規 継続 CP

(企画部 戦略広報課 シェアアップライト推進室)

事業概要

■ 「ふるさと納税」制度を活用し、市のPRと合わせて寄付額の増額を見込む。



事業費

【H31年度予算】 3,010万円 (市単独費)

主な取組み内容

- H30年度
  - 市の特産品や観光施設を返礼品として積極的に追加することで、市の魅力発信をすると共に、寄付額を増額するため、新規ふるさと納税サイトへの登録を増やし、新たな寄付者の獲得を進めた
- H31年度
  - ・新たな返礼品の開発
  - ・新規ふるさと納税サイトへの登録の追加
  - ・市外イベント等でのPR
- スケジュール

歳入目標	6,000万円
------	---------

# 放課後児童室運営事業

将来 新規 継続 CP

(教育部 教育総務課)

事業概要

- 平成30年度から市内すべての児童室を民間委託とし、保護者（育成会）の負担軽減、指導員の安定確保等を図っている。
- 平成31年度から、全ての児童室で対象児童を小学6年生まで拡大する。
- 一部児童室では学校余裕教室を児童室として活用し、待機児童ゼロに取り組む。



事業費

【H31年度予算】 9,497万円  
(国庫支出金：3,017万円、県支出金：3,017万円、  
一般財源：3,462万円)

主な取り組み内容

- ① 開室拡大の対象児童室  
東小、西小、富岡第一小、深良小、南小の放課後児童室（5支援増加）
- ② 全児童室で6年生までの受入れ
- ③ 受入れ拡大に伴う施設整備  
余裕教室、民間戸建て借家、隣接公共施設等を活用

- スケジュール（エアコン設置）

H31年度

平成31年度当初に改修工事着工  
同年度内全施設工事完了

# 裾野市発 屋上緑化推進事業

(産業部 農林振興課)

将来 新規 継続 CP

事業概要

- 平成27年度から地方創生事業として、軽量・薄層技術による付加価値の高い緑化作物の栽培方法を確立するため、試験圃場の整備、栽培に取り組んでいる。
- 平成31年度も引き続き事業者組織の運営支援の継続とともに、販路開拓・拡大等による収益力の強化を図り、緑化作物の特産化・雇用の拡大を目指す。



事業費

【H31年度予算】 800万円 (地方創生事業費)  
(内国庫支出金400万円)

主な取組み内容

東京オリンピック・パラリンピックを契機に、屋上緑化事業について、軽量薄層緑化技術の開発と緑化作物の栽培を行い首都圏に売り込むことで、農業者の収益拡大、荒廃農地の解消、新産業の創出を図る。

実施主体：裾野市環境緑花事業協同組合

- 販路開拓、拡大
  - 他事業者との連携による販路開拓及び拡大
  - 展示会、商談会等への出展による商品PR
  - 官公庁等への展示・販売を契機とした販路展開
- 生産体制強化
  - 需要の高い緑化作物の選定と育苗
  - 新たな薄層緑化作物の育苗
- 軽量薄層緑化技術の調査研究
  - 育苗圃場、試験施工箇所の経過観察と検証

# 須山・育苗圃場



# 梅の里研修圃場



# スポーツツーリズム事業

(産業部 産業振興課)

将来 | 新規 | 継続 | CP

事業概要

- 観光産業の振興を図るため、太陽生命ウイメンズセブンズシリーズ富士山裾野御殿場大会を誘致。
- 首都圏からの距離的優位性や富士山の壮麗な景色と山麓の標高を活かし、陸上競技の「準高地トレーニング」合宿誘致を促進する。



事業費

【H31年度予算】 645万円  
 (国庫支出金：435万円、一般財源：210万円)

主な取組み内容

- サイクリストの誘客や「準高地トレーニング」適地としたスポーツ合宿誘致
  - 県内高校・実業団に陸上合宿を提案し、試験的利用の実施等
- 太陽生命ウイメンズセブンズシリーズ関連事業（ラグビースポーツフェスティバル）



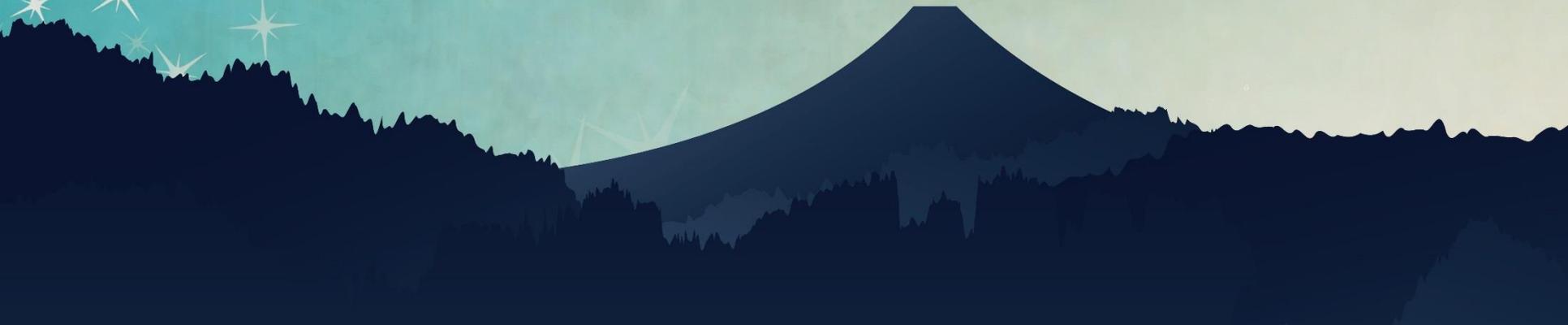
全国各地から裾野市への集客が増加  
 各分野のアスリートが裾野市でトレーニング・活躍しているという、市民の誇りが醸成  
 観光・スポーツ関連事業の新規顧客増加



都心から70分で  
準高地トレーニングができるまち

標高1,450メートルでのトレーニング

裾野市



# 裾野市使用可能コース(マップ)



# 裾野市使用可能コース

- ① ゴルフ場跡地（4ホール） 標高 1,345m
- ② 水ヶ塚公園内クロカンコース 標高 1,450m
- ③ 裾野市運動公園 標高 300m
- ④ 富士山こどもの国クロカンコース 標高 900m
- ⑤ 広域林道 富士山麓線 標高 1,000m
- ⑥ 富士山遊歩道コース 標高 900m
- ⑦ 千本ジョギングコース 標高 0m



# オリンピック・パラリンピック推進事業

(産業部 産業振興課)

将来 | 新規 | 継続 | CP

事業概要

- 東京2020オリンピックの自転車ロードレース競技（男子）が、当市を含むコースで開催される。
- 大会組織委員会や県、御殿場市、小山町等と連携し、大会運営の支援や機運醸成、レガシー創出にむけた取り組みを実施する。

事業費

【H31年度予算】 332万円（市単独費）

主な取り組み内容

- 大会開催に向けた支援
  - ・コースサポーターの募集
- スポーツ・文化・教育の振興
  - ・機運醸成のためのパンフレットや啓発品の制作
  - ・市民向け講演会の開催
- おもてなしと観光・産業振興
  - ・観光PRでの大会周知
  - ・大会関連イベントの開催
- 市民と共に記憶に残る大会づくり
  - ・「東京2020公認プログラム」の推進





# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

東京2020オリンピック自転車競技ロードレースが裾野市でも開催されます

## ロードレース(男子) 競技概要

- 競技日程 2020年7月25日(土) 11:00~18:15  
※市内通過は14:30~15:30頃  
※2時間程度の交通規制あり
- 距離 約244km (市内走行距離約19.2km)
- 選手数 130名
- スタート 武蔵野の森公園
- ゴール 富士スピードウェイ



### 《1年前イベント》

- 2019年7月21日(日) 小山町・御殿場市のロードレースコースを走行。
- 2019年7月22日(月) 御殿場市・裾野市のロードレースコースを走行。





# 裾野市のコースの特徴



## 裾野市コースの特徴

- 市内に入ってから水ヶ塚公園付近までの標高差が約900mある過酷な上り坂
- 富士山に向かって走るため、雄大な富士山の姿を存分に堪能できる

# 「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦

